

## 評価シート 様式

取組名	多様なNPOの連携による新しいスタイルの滞在プログラムの創出事業		
実施団体名	別府市元気再生協議会	対象地域	大分県別府市
(代表団体名)	特定非営利活動法人 別府八湯トラスト	推薦団体名	別府市
① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか		平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。 (備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について		平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかつたと認められる。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 (備考・特記事項)
		② 実施 体制	④ 継続 展開 の見 込み

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	多様なNPOの連携による新しいスタイルの滞在プログラムの創出事業		
実施団体名	別府市元気再生協議会	対象地域	大分県別府市
(代表団体名)	特定非営利活動法人 別府八湯トラスト	推薦団体名	別府市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見 異なる分野で活動する複数のNPOの連携によって、多重的な滞在プログラムを提供し、地域振興をはかろうとする、複合性と相乗効果の高い事業である。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、別府市を中心に活動するNPOが相互連携し、それぞれの活動分野で滞在型プログラムを開発し、その相乗効果により積極的推進をはかろうとする取組であり、様々な滞在型プログラムに関する取組を一元的に情報発信し全体の魅力を高めようとする点が評価できる。今後、以下に留意しつつ、地方の元気再生事業の支援によって継続的な展開が期待できるものである。 すでに取組内容はモデル性を有しているが、本格展開時には他機関からの支援によらない完全に自立した運営体制を構築するなど、より高いレベルの目標を設定して取組を深化させる必要がある。このため、次年度以降については、各NPOの連携・役割分担のあり方を含め全体を統括する体制の構築を図り、それぞれ自立的な展開を図るべきである。 個別の取組においては、日常的な滞在プログラム提供事業では、本年度の取組により判明した販売コストの課題解決に絞って販売可能な旅行商品の開発を行うべきである。バリアフリー旅行のサービス提供に関する事業では、本年度の調査に基づき作成された4種のバリアフリー観光モデルコースの検証、介護サポーターの人材育成に特化して販売可能な旅行商品の開発を行うべきである。滞在者を支援する「まちづかいセンター」の運用では、既に6カ所の情報発信拠点の成果が得られているため、地方の元気再生事業の支援によらず自立的に運営すべきである。地元農産物(菊芋)を用いた特産品の商品化と販売実証は、既に試食評価等が実施済みで、8軒の宿での販売協力も得られているため、地方の元気再生事業の支援によらず自立的に運営すべきである。コミュニティファンドは新たな展開であり、自立的展開を見据えた検討を行うべきである。